

事業セグメント別概況 水処理薬品事業



既存市場と新市場における成長により、
世界4極体制の構築を加速しています。

お客様に最良のソリューションを提供するための組織改革、
海外における積極的な拠点展開とM&Aにより
さらなる成長に向け事業基盤を強化しました。

代表取締役専務取締役
グローバル事業本部長 兼 ケミカル事業管掌
飯岡 光一

2017年3月期の概況

国内では、お客様の操業度の緩やかな回復と、新商品・新サービスを活用した課題解決提案の推進により、ボイラ薬品が増加に転じたほか、冷却水薬品や鉄鋼向けプロセス薬品も伸長し受注高・売上高は共に増加しました。海外では、現地通貨ベースの売上高は増加しましたが、円高の進行により海外事業子会社の売上高の円換算額が目減りし、全体の受注高・売上高が減少しました。

営業利益については、2016年3月期に発生した欧州買収事業の取得原価の当初配分額の見直しに伴う一時的な費用がなくなったことから増益となりました。

海外の売上高が決算に大きな影響を与えるようになってきている現状は、当社グループがグローバルにプレゼンスを高めている現れであると捉えています。2017年4月には、2017年3月期までのグローバルなビジネス展開の取り組みが評価され、世界各国の水処理関連企業が集まる「Global Water Summit 2017」で Distinction Awardを受賞しました。

市場環境

国内の製造業の設備投資は、引き続き緩やかな上昇にあると見ています。海外では、中国については液晶、半導体を中心にまだまだ旺盛な投資が続くと見込んでいます。また欧米については、当社グループのシェアが低い地域での事業拡大に集中したいと考えています。現在、世界的に水資源の有効活用が求められる中で、クリタグループが得意とする排水回収再利用技術へのニーズが高まっており、成長機会はさまざまな地域に存在します。こうした中で、海水の淡水化、排水の回収再利用に関連する水処理薬品の開発体制を強化するため、新たに2017年4月に研究開発拠点をシンガポールに設置しました。

成長戦略

「最良のソリューション」の追求

クリタは、お客様の生産性向上や安定操業に貢献することはもちろん、一歩進んでお客様の事業革新に貢献できないパートナーになりたいと考えています。その

実現に向けて、水処理薬品によるソリューションと水処理装置によるソリューションを融合しながら、お客様にとっての最良のソリューションを提供する体制へと組織改革を行いました。この取り組みにより、日本や中国・韓国については、各地の事業の既存市場におけるシェアの拡大で2018年3月期に約2～3%の増収を見込んでいます。また、欧州については、中東を含め事業を展開するクリタ・ヨーロッパGmbHの事業拡大を、米国については、M&Aやアライアンスによる成長をめざしています。

世界4極体制の推進

当社グループでは、日本・アジア・欧州・北南米の世界4極で、各地域相互のシナジーを追求しながら水処理薬品の事業基盤構築を推進しています。現地の人材と組織の充実により、日本で培った競争力の高い技術を各地の市場ニーズや規格に合わせて最適化し販売するといった動きを加速しています。

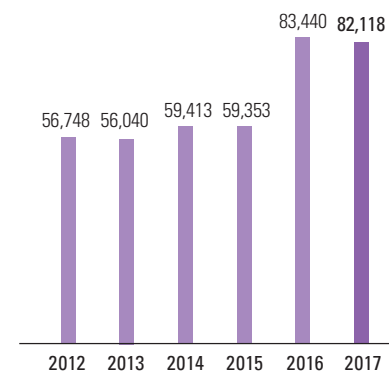
2017年3月期は、中東や東南アジアでお客様の要望への対応力を高めるためUAEとベトナムに現地法人を設立しました。2017年1月に、米国中西部ミネソタ州に本拠を置く水処理薬品の製造・販売会社であるフレモント・インダストリーズ、LLCを買収し、米国中西部の顧客に対する販売ネットワーク、経験豊かな人材、製造拠点

など、次なる成長に向け貴重な経営資源を手にすることができました。この買収を足掛かりとして今後、「米国トップクラス」の水処理薬品企業をめざして、地域密着型の企業や、特長ある技術・商品を保有する企業に対して第2、第3のM&Aを進めていく方針です。

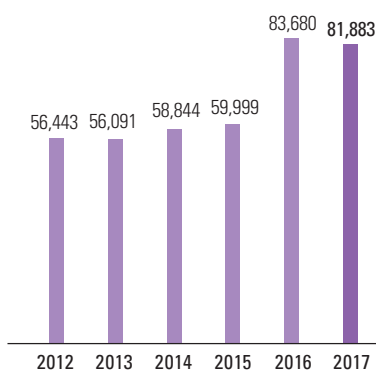
競争力ある商品・サービスの拡販

ボイラ向け水処理薬品に用いられ、熱交換を阻害するスケールの分散効果と除去効果を併せ持つ「ドリームポリマー[®]」、冷却水系のレジオネラ属菌を除菌し増殖を防ぐ「レジ//エンド[®]」などに加えて、逆浸透 (RO) 膜処理薬品などの拡販を進めていきます。「ドリームポリマー[®]」については、独創性と環境負荷低減の著しい効果により一般社団法人 日本化学工業協会が主催する「第49回日化協技術賞」において、「環境技術賞」を受けるなど、業界からもその価値を高く評価されており、これからも高い競争力を発揮すると考えています。またITとセンシング技術を組み合わせるお客様の設備の安定操業に貢献するサービス「S.sensing[®]」の機能を刷新し、グローバル展開を本格化させます。海外において、このサービスの適用は中国と東南アジアで先行していましたが、今後は欧州や北南米を含めた30カ国のお客様、約10,000工場で開催を図ります。

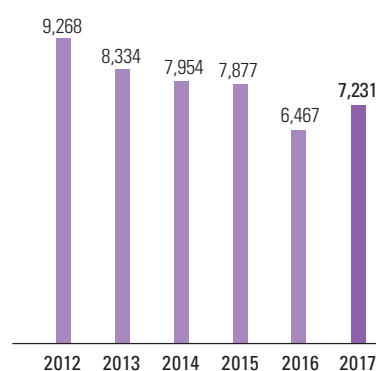
受注高 (百万円)
3月31日に終了した会計年度



売上高 (百万円)
3月31日に終了した会計年度



営業利益 (百万円)
3月31日に終了した会計年度



生産性向上を支える次世代型水処理サービス「S.sensing[®]」

クリタは「IT・センシング技術」を活用し、他社にはない水処理サービスを追求し続けています。その代表例が2013年から展開する「S.sensing[®]」です。「S.sensing[®]」とは、お客様の工場の水処理薬品やプロセス薬品が使用される設備にセンシング機器を取り付けて、「計測」「解析」「制御」の各技術を組み合わせ、水質変化をリアルタイムに捉えて最適な薬注制御を行うシステムです。「S.sensing[®]」の価値は、お客様の設備の運転状況と水質の関係を明らかにし、得られたデータを課題解決に活用できる点にあります。常に本システムの機能強化に取り組んでおり、2016年には、段ボール工場において、お客様が蓄積した操業データと「S.sensing[®]」が収集したデータから相関関係を発見し

「製品不良率や製造コストの低減につなげる」という成果が挙がっています。クリタでは、冷却水だけでなく、排水処理や製紙プロセスなど、より広範囲にサービスが提供できる「S.sensing[®]」の特長を活かし、グローバル市場でも競合メーカーに対する優位性を確保していきたいと考えています。

S.sensingの全体像

